

11 図書館教育

2024年度 図書館教育全体計画

教育目標

自ら創造する心豊かな生徒

<目指す生徒像>

自信のある言動・思いやりの心・助け合うかかわりのできる生徒

<図書館教育の目標>

読書のよさを理解し、本を読む習慣が身についているとともに、図書資料を活用して**多様な考え方や価値観**について学ぶことのできる生徒を育てる。

<生徒の実態>

○2024年「新潟市生活・学習意識調査」より

「本を読むことが好き」 肯定的評価 62.9%（昨年度の肯定評価 64.5%とほぼ同じ）

「1ヶ月に読む紙の本」 1～3冊 61.5% 0冊 22.2%（昨年度の1～3冊 53.4%、0冊 25.6%より読む量が増えている）⇒1日10分の朝読書も、読む経験の蓄積に大きな役割を果たします。

<図書館教育 指導の重点>

図書館の機能を『**興味センター**』何かに出会う場所、『**読書センター**』読書を楽しむ場所、『**情報センター**』『**学習センター**』必要な情報を手に入れる、活用する場所として、学びの目的に応じた使い方ができるように教科等と連携して指導する。

タブレット導入により、図書資料活用機会が減ることが予想される。図書資料だから優れているところ、図書館だからできることを模索し、情報発信していく。

<指導のステップ>

○図書館の基本的な利用方法の習得
○調べ学習のルール習得

○読む体験の蓄積
○調べ学習の体験

○読む体験の蓄積
○内容や情報の活用、内化

<各教科等における図書館教育>

○課題の解決に必要な資料や情報を探したり学習に活用したりできる。
○様々な書籍や資料、関連図書を読むことで、より広く、深く考えることができる。
○分かったことや感じたことを整理し、自分の考えを表現できる。



○総合的な学習の時間での活用
○各教科での活用